



2017年4月11日

SUPER GT 開幕戦、2台のAudi R8 LMS は共に完走を果たす

- ・ Audi Team Hitotsuyama は予選 12 位、決勝は一進一退の展開で 14 位に
- ・ Team TAISAN SARD は予選 25 位から追い上げ、21 位完走でレースを終える

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）は、新型 Audi R8 LMS で SUPER GT の GT300 クラスに挑戦するカスタマー（プライベート）チームを支援しています。4月8日（土）、4月9日（日）、岡山国際サーキット（岡山県 1周3,703m）で、2017 AUTOBACS SUPER GT 開幕戦となる「OKAYAMA GT 300km RACE」が開催されました。

今大会には、#21 Audi Team Hitotsuyama（アウディ チーム ヒトツヤマ）と、#26 Team TAISAN SARD（チーム タイサン サード）の2チームが、新型 Audi R8 LMS で参戦しています。

Audi Team Hitotsuyama は、2012 年より Audi R8 LMS で SUPER GT へ挑戦を続けており、昨年の GT300 クラスの年間シリーズではチーム、ドライバーランキング共に 3 位、FIA GT3 勢ではトップの地位を獲得しています。今年のチームには 2012 年より継続してこのチームで Audi R8 LMS をドライブするリチャード ライアン選手に加えて、昨年までトップカテゴリーの GT500 クラスに参戦し、GT300 クラスはもとより GT500 クラスでもチャンピオン経験をもつ柳田 真孝選手が加入しています。

開幕戦では、予選前の練習走行中にマシンが電気系トラブルに見舞われるなど、十分なセットアップができないまま予選へと臨みました。それでも見事にリチャード ライアン選手が Q1 をクリアし、予選 12 位を獲得。天候は晴れ、ドライコンディションではじまった決勝レースの第 1 スティントは、リチャード ライアン選手が担当しました。スタート時に GT500 のマシンのトラブルで、セーフティカーの先導によるイレギュラーなレーススタートとなりましたが、タイヤをいたわりながら冷静に 46 周もの長いスティントを走り切り、第 2 スティントの柳田選手へとドライバー交替します。ここからチームはニュータイヤで攻勢をかける作戦を取りましたが、コースに復帰した直後にまたもやセーフティカーが入るアンラッキーな展開となり、後半は柳田選手もいいレースラップを刻みながら 14 位でレースを終えました。

Audi R8 LMS で 2 年目の参戦となる Team TAISAN SARD は、今シーズンより昨年の GT500 クラスのチャンピオンチームである SARD の野田 英樹監督をチームへ招聘。さらにドライバーラインナップも山田 真之亮選手とジェイク パーソン選手という共に 20 代の若手コンビへと一新しての挑戦となります。

まだチームとして十分な練習時間が得られていないこともあり、予選ではセットアップに苦戦してタイムが伸び悩み、Q1 をクリアできず 25 位で終わりました。決勝当日は予選の結果を踏まえてセッティングを大きく変更。それが功を奏し、ウォームアップ走行でもいいタイムが出るようになりました。第 1 スティントは山田 真之亮選手が担当。後半は順調にラップタイムをあげ、上位に匹敵する速さを見せました。45 周の長いスティントを大きなミスなくこなし、ジェイク パーソン選手へとドライバー交替。SUPER GT 初参戦ながらも、これまでフォーミュラカーレースで活躍してきた実力を発揮し、時おり上位に匹敵するタイムを刻み、荒れた展開となった開幕戦を無事に 21 位で完走を果たしています。

Audi Team Hitotsuyama :

一ツ山 亮次チーム代表のコメント

「新体制の開幕戦は公式練習での電気系トラブルにはじまり、ウォームアップ走行でのライバルとの接触など予期せぬトラブルがたくさん出たレースでした。しかし、すぐに気持ちを切り替えてレースに臨み、メカニックも素早い作業でいい仕事ができたとします。正直に言えば、チームとしては6位入賞を目指したいところでしたが、課題もみえましたし次戦に向けて準備を進めていきます。柳田選手という素晴らしい経験をもったドライバーを迎えたことで、今後チーム内にさらにいい影響が生まれてくると思います。今後に期待しててください」

リチャード ライアン選手のコメント

「予選の前から電気系トラブルなどアクシデントに見舞われましたが、そうした中で予選12位はそれほど悪くはないでしょう。今年のチャンピオンシップは昨年以上にとてもコンペティティブだと感じています。SUPER GTはすべてのレースを勝てるような優しいものではなく、レース毎に主役が代わります。そういう意味では我々にとって難しい週末になりましたが、チームにとって学ぶことはとても多かった。柳田選手はGT500での経験も豊富なプロフェッショナルでいい関係が築いていけるとします。次の富士ではもっといいレースがみせられるように頑張ります」

柳田 真孝選手のコメント

「ウォームアップ走行で他車と接触してしまいましたが、チームとアウディ ジャパンの迅速なサポートに感謝します。それがなければ、スターティンググリッドには並べなかったとします。決勝レースはタイヤのマッチングが難しく、リチャード選手と共に厳しい展開となりましたが、久しぶりのGT300のレースをエンジョイできました。いまのSUPER GTは、マシンはもとよりタイヤメーカーの競争という側面もありますので、そこはチームとダンロップと一丸となって成長していきたいとします。このチームとポテンシャルの高いAudi R8 LMSで、今後よりいい結果を出せると確信しています」

Team TAISAN SARD :

野田 英樹チーム監督のコメント

「土曜日はセットアップがうまくいきませんでした。決勝レースではいい方向を見つけることができました。こうした積み重ねでチームが強くなっていくとします。若いドライバー2人は1発の速さがあります。これからもっと経験を積むことが必要で、まずは第一段階として方向性が見えただけでも収穫でした。監督としてGT500でチャンピオンを取らせてもらったときも、3年かかりました。まわりのみなさんはすぐに結果を期待されるかもしれませんが(笑)、Audi R8 LMSはオールマイティで安定したマシンです。着実に積み上げていけばいずれ勝てるチームができるとしています」

山田 真之亮選手のコメント

「予選に関しては、ジェイクと共に2人の意見が一致してしまいましたがゆえにセットアップの方向性を大きく外してしまったのが悔やまれます。ただ、決勝当日はセッティングもうまく決まって、プッシュすることができました。セーフティカースタートになったり、Audi R8 LMSにはちょっと不利な展開もありましたが、マシンの速さは実感することができました。次はより上の順位を目指したいとします」

ジェイク パーソン選手のコメント

「はじめてのSUPER GTで、いろいろ難しいこともありました。この週末はすばらしい経験ができました。これまでフォーミュラカーで走ってきて、GTレースの特徴にまだ慣れない部分もありますが、今シーズンこのチームとそしてAudi R8 LMSで走れることをとても楽しみにしています。今回のレースの反省点をもとに、次の富士ではトップ10を目指して頑張りたいとします」

アウディ ジャパン 代表取締役社長 斎藤 徹のコメント

「新型になった Audi R8 LMS は今年で 2 年目を迎えます。昨年 Audi Team Hitotsuyama がもてぎで優勝を遂げ、またシリーズ 3 位という好結果を残すことができました。今年は両チームとも新体制での参戦で、より戦闘力が高まっておりさらなる飛躍を期待しています。そして、こうしたカスタマーレーシングは Audi Sport の活動の柱の 1 つであり、今後はさらに注力していきたいと思っています。

今年は SUPER GT に加えて、スーパー耐久という日本では人気のレースカテゴリーに、新たに開発されたレースカー、Audi RS 3 LMS が参戦しています。我々にとってモータースポーツには 2 つの側面があると思っています。1 つはもちろんビジネスとして、これらのレースカーをはじめ Audi Sport が開発を手がける、R8 を筆頭とする RS シリーズの認知拡大、拡販に寄与すること。そしてもう 1 つが、企業としての使命という少し大げさかもしれませんが、世界で 3 番目ともいわれる自動車市場である日本において、クルマを文化として根付かせていきたい。そのための重要なコンテンツの 1 つだと考えています。短期的な結果を求めているわけではなく、5 年、10 年と継続的にアウディがモータースポーツに関わっていくことで、着実にブランドが醸成され、またファンが増えていくことを期待しています」

アウディは、「Audi Sport (アウディ スポーツ)」の主導のもと、2016/2017 シーズンから、電気自動車による FIA フォーミュラ E レーシング シリーズに本格参戦しています。また Audi RS 5 DTM で DTM (ドイツツーリングカー選手権) に参戦しています。さらに、カスタマーモータースポーツとしては GT3 レースカー Audi R8 LMS や Audi RS3 LMS を世界中のプライベートチームに供給するなど、モータースポーツ活動全般を支援しています。現在、Audi Sport を、アウディのスポーティなブランドイメージをより一層強調するサブブランドとしてグローバルで展開しており、日本国内でもコミュニケーション拠点 Audi Sport 店を全国 25 店舗オープンしております。